

大原社会問題研究所五十年史

III 本格的事業の展開から東京移転まで〔一九二三～三六年〕

大阪府へ不動産、図書を譲渡す

一〇月一七日、東京市淀橋区柏木四丁目八九六番地にある山内多聞画伯の邸宅を四万二、五〇〇円で買入れる契約が成立した。久留間氏は移転の受入れ準備のため一一月七日上京した。一方一〇月一九日には大阪府知事安井英二氏と高野氏の面会の結果、府(社会課)の土地、建物、図書購入の希望が明確となり、一二月四日には土地建物一五万円、図書(経済学関係を主とする約八万冊)五万円、計二〇万円にてこれらを譲渡することにきまった*。これで東京移転にともなう処理事項の大半は終り、明年二月頃には移転出来る見とおしがつくにいった。

*大阪府に図書を譲渡するについて次の条件がつけられた。(1)将来大阪に文化系の大学が設立される時は、これに一切の図書を移管されたいこと。(2)それまでは一般の利用を禁じ散逸をふせぐこと。(3)従来研究所の庶務会計主任をしてきた鷹津氏を府で採用し、図書保管に当らせること。

ちなみに第二次大戦の戦災に遇い、大阪の旧研究所本館は焼失したが、堅牢な書庫と鷹津氏の献身的な努力により右の図書は一冊の亡失もなく今日まで完全に保存され、大阪府立図書館天王寺分館の蔵書として市民に利用されている。これらの図書のうち、洋書については『大原文庫洋書分類目録』(全四冊)が大阪府立図書館より刊行されている。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)